

# 府中東高校 2023年度 論理国語 年間授業計画

教科：(国語)科目：(論理国語) 対象：(第2学年)

使用教科書：論理国語(数研出版)

使用教材：論理国語準拠ワーク(数研出版) 意味で覚える漢字トレーニングセレクト(いづな書店)

## 教科の目標

### 【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

### 【思考力、判断力、表現力等】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

### 【学びに向かう力、人間性等】

言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

## 科目の目標

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習取り組む態度】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
1 学 期	第1章 弱いつながり ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・筆者の言う「弱い絆」をつくるにはどうしたらよいか、自分の考えをまとめる。	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(知識・技能) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。(思・判・表) ・文章の内容から読み取れる筆者の意図について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。(主体的態度)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	逆説/手の変幻 ・文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方に対する自分の考えを述べる。 ・逆説的な表現の内容を理解する。	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(知識・技能) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。(思・判・表) ・文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。(主体的態度)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	具体と抽象/「具体」から「抽象」へ ・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張を踏まえ、事物を抽象的にとらえることの利点がわかる具体的事例を日常生活の中から考える。	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(知識・技能) ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。(思考・判断・表現) ・文章の内容に適した具体例を粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。(主体的態度)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	言葉と創造/添削の思想 ・「添削」「推敲」についての筆者の考えと、近代芸術の問題点の内容をとらえる。 ・「添削」の役割について理解する。	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。(知識・技能) ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(思考・判断・表現) ・筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて文章を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。(主体的態度)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
2 学 期	近代と現代の視点/未来世代への責任 ・環境問題について筆者の意見の論理をとらえる。 ・「未来世代への責任」という題で自分の考えを書く。	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(知識・技能) ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(思考・判断・表現) ・「未来世代への責任」の意味を積極的に読み解いたうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。(主体的態度)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	情報と社会/擬似群衆の時代 ・文章の内容を踏まえ、メディアと群衆現象の関係を整理する。 ・「待機する群衆」が潜在させている力について、自分の考えを述べる。	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(知識・技能) ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(思考・判断・表現) ・筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。(主体的態度)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	情報と社会/消費されるスポーツ ・「メディア」と「スポーツ」の関係から活動の総体としての「社会」を導くという文章展開をとらえる。 ・文章中の比喩表現や強調表現の内容を理解する。 ・文章内容をWEB記事の内容と関連づけて考察する。	・文や文章の効果的組立て方や接続の仕方について理解を深めている。推論の仕方について理解を深め使っている。(知識・技能) ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。また資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。(思考・判断・表現) ・文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。(主体的態度)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	言葉と思考/日本語は非論理的か ・筆者が言葉の使い方について「論理的」「非論理的」と表現する内容を理解する。 ・筆者が提示する問題点を踏まえつつ、具体例とともに自分の意見を論述する。	・文章の種類に基づく効果的な段落構造や論の形式など、文章構成や展開の仕方について理解を深めている。(知識・技能) ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。(思考・判断・表現)正弦定理、余弦定理を活用し、三角形の辺の長さ、角の大きさを求めることができる。(知・思・主)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	8

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
		・課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、課題に沿って適切にまとめようとしている。(主体的態度)				
3 学 期	言葉と思考/偶然とは何か ・人間の「必然」と「偶然」についての歴史的なとらえかたについて読みとる。 ・「偶然」の持つ価値について考えを深める。	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(知識・技能) ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、新たな観点から自分の考えを深めている。(思考・判断・表現) ・筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。(知・思・主)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	言葉と思考/野生の「クジラ」と人間の「鯨」 ・自然の「普遍的価値」「多元的価値」と、筆者の考える〈環境倫理〉〈環境道徳〉の内容を読み取る。 ・筆者が危惧する現代社会の「食」について具体的な例を挙げて説明する。	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(知識・技能) ・「読むこと」で、関連する文章や資料を基に書き手の立場や目的を考え、内容の解釈を深めている。(思考・判断・表現) ・文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。(主体的態度)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	6
	文章の背景/「安楽」への全体主義 ・人々の精神状態を「安楽への隷属」と表現する筆者の意図を読み取る。 ・筆者の考えを踏まえ、現代社会についての自分の考えを具体例とともに論述する。	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方への理解を深めている。(知識・技能) ・「書くこと」で、立場の異なる読み手を説得するため、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する(知・思・主) ・課題テーマについて積極的に考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。(主体的態度)	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント等 課題の提出 授業中の 取り組み	8
合計					70	